

編集 後記

日本公衆衛生雑誌第54巻第10号をお届けいたします。ご存知のように2008年度より、医療保険者には、健康増進計画の提出、40歳から74歳までの被保険者・被扶養者を対象に特定健診の実施、健診後の保健指導が義務化され、2013年よりその評価により拠出金額の差別化が実施されます。特定健診の内容については、「内臓脂肪型肥満（メタボリックシンドローム）に着目した健診及び保健指導の事業実施を義務づける」とあり、医療保険者として実務を担当する健保や自治体等ではメタボリックシンドローム健診・保健指導体制の強化が急務になっています。本号の中にも、メタボリックシンドロームと脳卒中の関係を検討した疫学研究の結果が公表されています。しばしば議論されるのが、メタボリックシンドロームの診断基準の適切性であり、特に腹囲基準を必須とすることについては日本人においては適当でないとする研究成果がいくつか見られます。地域住民を対象とした疫学研究では、イベント数が少ないために、そのリスクが明確に確認されないのか、それとも診断基準自体に問題があるのかについては今後の更なる研究の積み重ねが必要と思われます。より良い医療につながる良質なエビデンスを発信していくのと同時に、国民がそのエビデンスをどのように享受していくかがこれからの課題となってきます。

(松山 裕)

11号予告（第54巻・第11号）

原 著

地域在宅高齢者の介護予防推進ボランティア活動と社会・身体的健康および QOL との関係
 島貫秀樹, 他

公衆衛生活動報告

食育推進のために実施した質問紙調査を通じた大阪の公衆栄養活動（2006年）…佐藤眞一, 他

資 料

中学生の将来の自己喫煙予想と家庭環境および健康行動との関連.....若林チヒロ, 他
 中国吉林省の一幹部病棟における高齢患者の現状.....孫 皎, 他
 群馬県中高年を対象とした花粉症に関連する要因についての横断研究.....橋本由利子, 他

連 載

臨床疫学の基礎(5).....大久保一郎
 高齢者保健・福祉(3).....堀内ふき

社団法人日本食品衛生学会第8回特別シンポジウム開催のお知らせ

開催日時：平成20年2月8日（金）13：00～17：00

開催場所：東京大学農学部弥生講堂

（東京都文京区弥生1-1-1、交通機関：南北線・東大前駅、千代田線・根津駅）

テーマ：食の安全にかかわる検証と信頼

- | | | |
|---------------------------|--------------|-------|
| 1. メディア報道における取材者と科学者の責任 | 千葉科学大学 | 長村 洋一 |
| 2. サプリメントの品質とGMPの国際動向 | 日本健康食品規格協会 | 大濱 宏文 |
| 3. 食品中の農薬等に関する試験法評価ガイドライン | 国立医薬品食品衛生研究所 | 松田りえ子 |
| 4. 微生物試験における精度管理 | 財食品薬品安全センター | 鈴木 達也 |
| 5. 食品安全委員会の最近の動き | 内閣府食品安全委員会 | 広瀬 雅雄 |

参加費：5,000円/1名（先着250名、定員になり次第締め切ります）

参加方法：食品衛生学雑誌第48巻5号、または当学会のホームページ <http://www.shokuhineisei.jp/> をご覧下さい。

参加登録：受け付けをした方には、登録番号を付したハガキをお送りいたしますので、当日ご持参下さい。

主 催：社団法人 日本食品衛生学会 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-6-1

問合わせ 食品衛生センター内 TEL. 03-3470-2933 FAX. 03-3470-2975